

福岡市における適応策の取組

1. 適応策に関する計画

平成28年12月に策定した「福岡市地球温暖化対策実行計画」において、基本方針の一つとして「気候変動への適応」を定めている。また、福岡市の地域特性を踏まえ、自然災害・水資源・健康被害・自然生態系・農作物の5つの分野に関する対策を定めている。

区分	主な取組
自然災害	ハザードマップの提供・調整池の設置
水資源	節水行動の推進・水源かん養林の育成
健康被害	熱中症対策・ヒートアイランド対策
自然生態系	身近な生きものの生息環境の保全
農作物	高温障害対策などに関する情報提供

2. 適応策の主な取組

【自然災害に関する対策】

○浸水対策事業

重点地区を定め雨水対策を行う「雨水整備 DO プラン」及び都市部の雨水対策を強化した「雨水整備レインボープラン天神」に基づき、雨水幹線やポンプ場、調整池等の整備を実施。

○浸水ハザードマップの提供

日頃から防災の意識や避難の心構え及び準備を促すため、大雨時の浸水状況と避難行動に役立つ浸水ハザードマップを市民へ提供。

○土砂災害ハザードマップの提供

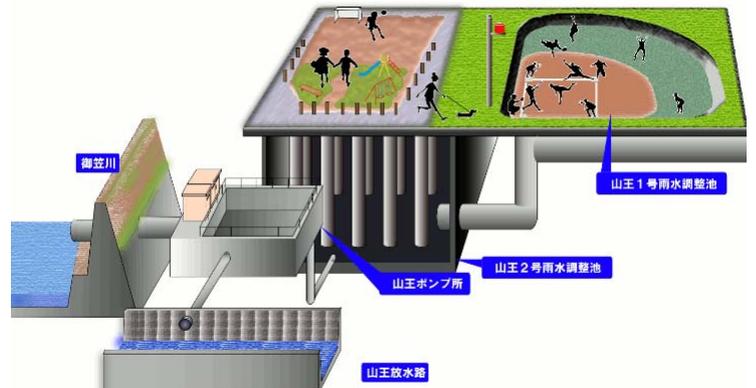
地域や家庭で土砂災害警戒区域や避難場所等を確認し、いざという時に「早めの避難」を心がけてもらうため、校区毎の土砂災害ハザードマップを市民へ提供。

○防災・危機管理体制の充実・強化／災害廃棄物の収集・運搬に関する協定

自然災害の発生により一時的に大量発生したごみの処理については、近隣市町村との相互協定や福岡市の地域防災計画、震災廃棄物処理計画及び各種業務マニュアルに基づき、迅速かつ適切に対応する。



浸水ハザードマップ



山王雨水調整池

【健康被害に関する対策】

○熱中症にかかる情報提供

「福岡市熱中症対策方針」に基づき、関係部局が連携して予防・対処法の普及啓発等の熱中症対策を推進。

- ・ホームページや啓発リーフレットなどによる予防・対処法の情報提供
- ・暑さ指数をホームページ、防災メールやLINEにより配信
- ・熱中症搬送状況統計データ等の情報提供 等

○ヒートアイランド対策

緑のカーテン等による日陰・クールスポットの創出や打ち水の普及啓発等、暑熱環境に適応したライフスタイルの転換を推進。

○感染症にかかる情報提供

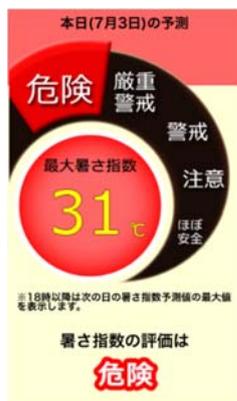
蚊が媒介する感染症について、国内外の発生動向等を捉え、市民に対して予防の観点からホームページで注意喚起するとともに、相談窓口の紹介を実施。

○住宅窓の複層ガラス等への改修促進

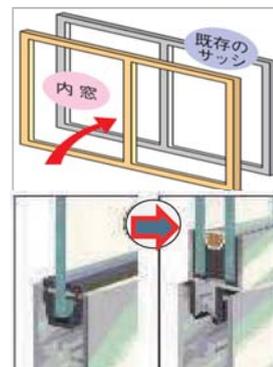
新規事業

熱中症の発症リスクを低減し、省エネにもつながる住宅窓等の改修を促進するため、改修効果等の広報啓発を実施。

- ・環境フェスティバルの出展ブースや市政だよりでの改修効果のPR
- ・市民モニターを活用した広報啓発



市HP「福岡市熱中症情報」



複層ガラス等への改修

3. 適応策に関する庁内での取組

今年度は、6月の気候変動適応法成立の動き等も踏まえ、庁内の関係部局への周知として、7月に、環境省・気象台から講師を迎え、職員向け説明会を開催。